

3-4 ヒストリーマッチング結果

非定常的な解析条件変化に対するモデルの精度を上げることを目的としてヒストリーマッチングを行った。解析条件について表 3-7 に示す。マッチング対象は 2000/1 ~ 2001/7 までの水位観測データとした。表 3-8 に初期状態再現解析及びヒストリーマッチング解析により得られた最適水理定数を示し、この水理定数でヒストリーマッチングを行った結果について図 3-7 に示す。

各帯水層の地下水位分布標高及び分布幅がほぼ一致している。

降雨に対する応答時期と水位変動幅がほぼ一致している。

という結果が得られた。

表 3-7 ヒストリーマッチング解析条件

項目	解析条件
降水量	図 2-8 で示す 2000/1 ~ 2001/7 の降水量から Hamon 法により求められた蒸発散量を引いた有効降水量を使用。
井戸揚水	農業用井戸取水量を文献値に沿って季節変動させたもの(図 2 - 16 参照)。

表 3-8 解析パラメータ

区分名	有効空隙率	透水係数 (cm/sec)
盛土層(B)	0.15	1.0×10^{-4}
沖積粘土層 (Ac)	0.1	1.0×10^{-7}
沖積砂・砂礫層 (As)	0.15	水平方向： 6.0×10^{-3} 鉛直方向： 1.0×10^{-3}
段丘砂・砂礫層 (Tlg, Tmg)	0.15	水平方向： 6.0×10^{-3} 鉛直方向： 1.0×10^{-3}
段丘粘土層 (Tlc, Tmc)	0.1	1.0×10^{-7}
大阪層群砂・砂礫層 (Os1 ~ Os4)	0.2	水平方向： 6.0×10^{-3} 鉛直方向： 1.0×10^{-3}
大阪層粘土層 (Oc1 ~ Oc6)	0.1	1.0×10^{-7}
三笠安山岩 (M) 地獄谷累層 (J)、 領家変成岩類・領家花崗岩類 (R)	0.05	1.0×10^{-5}
区分名	マンニングの粗度係数	
河床部 (佐保川、秋篠川、能登川)	0.025	
山林	0.6	
その他 (奈良市街地、宅地他)	0.3	

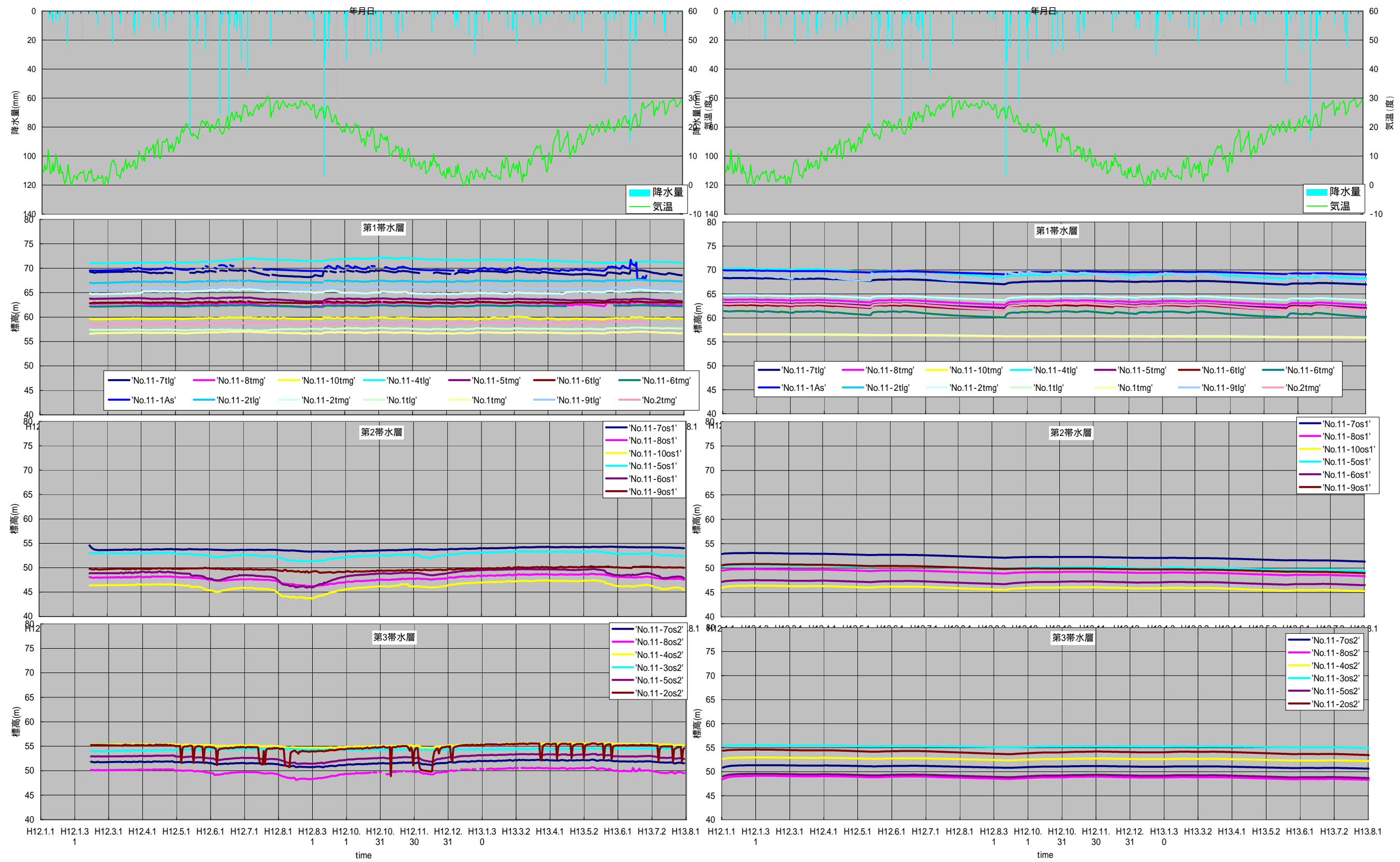


図3-7 ヒストリーマッチング結果